

木材加工技術賞, 市川賞を受賞

(公財)日本木材加工技術協会から授与

(公財)日本木材加工技術協会(以下、加工協)は、環境負荷の少ない適正な木材加工・利用に関する学術の振興と技術の向上及び普及を図り、木材産業の発展に寄与することを目的として、1948年に発足され、今年が70周年となります。

加工協は、機関誌「木材工業」の発行、地域と密接な支部の設置(北海道支部は、加工協発足と同年の1948年に他支部に先駆け最も早く設置)、木材乾燥士をはじめとする技術資格の認定、技術講習会の実施等、多様な活動を行っています。その一環として、木材加工・利用技術の進歩発展に貢献した業績に対して、「木材加工技術賞」ならびに「市川賞」の授与を行っています。

「木材加工技術賞」は、木材加工・利用に関する産業技術に貢献した業績に対して授与され、今年が第63回となります。

「市川賞」は、木材産業の発展に寄与する新しい研究・技術開発の業績に対して授与され、今年が第17回となります。「木材産業の発展に寄与する新しい研究・技術開発の業績」とは、木材産業に新しい可能性を提示する業績で、革新的な新規開発、技術開発を誘導するような開発・学術研究、近く実用化が見込まれるまたは実用化が進行中のものなど、未来指向の業績とされています。

今年度、林産試験場の研究成果が木材加工技術賞を、林業試験場の研究成果が市川賞を受賞しました。

■今年度の受賞技術

受賞技術は次の2件となります。それぞれの受賞技術の概要を次頁から紹介しています。

○第63回木材加工技術賞

受賞技術

北海道産カラマツによる高強度集成材の製造技術の開発

受賞者

(地独)北海道立総合研究機構林産試験場
松本和茂氏

○第17回市川賞

受賞技術

非破壊型樹木内部診断装置の開発と木製屋外資材への適用

受賞者

(地独)北海道立総合研究機構林業試験場
脇田陽一氏、小久保亮氏
広島大学生物圏科学研究科
櫻井直樹氏

それぞれの受賞技術の概要は下記加工協年次大会でも紹介されます。

創立70周年記念第36回年次大会

日時:10月18日(木)~19日(金)

受賞者講演は10月18日(木)

場所:東京大学, 弥生講堂

■最近の受賞技術

林産試験場は、これまでも木材加工技術賞、市川賞を受賞しており、直近では下記があります。どちらも、企業との共同受賞であることが特筆されます。

○第57回木材加工技術賞(平成24年度)

受賞技術

防火木材の品質管理技術の開発

受賞者

(地独)北海道立総合研究機構林産試験場
河原崎政行氏
昭和木材(株)
高橋秀樹氏

○第14回市川賞(平成27年度)

受賞技術

情報共有化に向けた「製材品質管理システム」の開発

受賞者

(地独)北海道立総合研究機構林産試験場
石河周平氏、石川佳生氏
(株)コンピューター・ビジネス
伊藤敬弘氏、沼田菜々氏